

共同助成(福島県遊技業協同組合連合会)

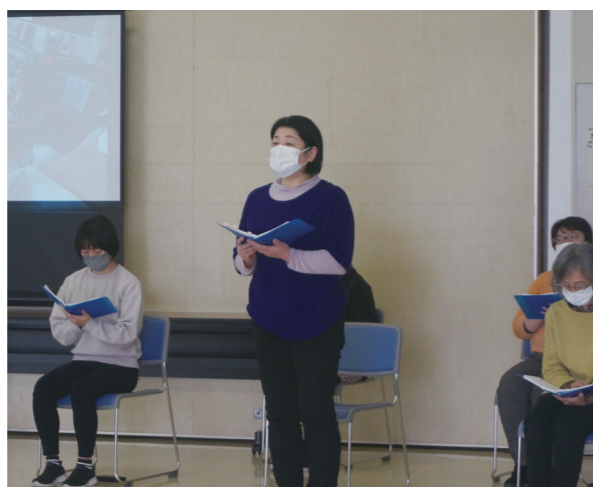
『『ふくしま』の10年を未来に繋ぐ、新たな語り人活動事業 ～3.11複合災害の記録と記憶を『明日』への教訓に～』事業

コロナ禍という悪条件を乗り越えて実施にこぎ着けた 避難所を舞台とした朗読劇の上演と資料の改訂版作成

「人の世に起こったできごとは、人によって語らなければならない」を合い言葉に、東日本大震災や原子力発電所事故による被災の様相を「語り人」活動を通じて伝え続けている団体が福島県にある。震災から10年が過ぎた今、コロナ禍の中で思いも新たに当時の様相を伝える朗読劇の上演や資料の改訂版の作成に取り組んだ。



朗読劇「生きている 生きてゆく〜ビッグパレットふくしま避難所記より〜」を上演



被災地・福島の実態を世間へ伝え、 復興のあるべき姿をともに考える活動

2011年3月11日に起きた東日本大震災と、それに伴う東京電力福島第一原子力発電所の事故により甚大な被害を受けた福島県富岡町。その現状と課題を、全国各地に避難した住民や避難先地域の人々、震災からの復興に関心を持つ人々などに対して広く語り伝える「語り人(べ)」の事業を行い、被災地・福島の実態を世間へ伝えることで復興のあるべき姿を共に考え、共に実現することを目的に活動を続けているのが、NPO法人「富岡町3・11を語る会」である。

同法人ではこれまで「震災の話を聞きたい」という依頼に応じて、全国各地はもとよりスイス、オランダ、フランス、イギリスなどの海外でも口演を行ったり、語り人として語るた

めの表現力を向上させるためのイベント(演劇キャンプ、表現塾など)を実施したりしてきた。

昨年度はPOSCの助成を活用して、被災地や避難場所での生活を余儀なくされている富岡町民の思いを演劇を通して伝え、原子力災害のリスクと人々の生きる力を多くの人に理解してもらうことを目的に、2022年3月21日に郡山市ミュージカルがくと館中ホールで朗読劇『生きている 生きてゆく〜ビッグパレットふくしま避難所記より〜』の上演を行った。また、震災から10年を迎える富岡町の現状を記録として残すため、2016年度に作成した資料『伝えたい』の改訂版を作成した。ともにコロナ禍での活動となったため、紆余曲折があったものの、何とか工夫して実施にこぎ着けた。

コロナ禍による様々な困難を乗り越えて 実施された朗読劇上演と資料作成

朗読劇は当初、県外での公演を目指したが、コロナ禍のために断念せざるを得ず、次善策として2011年3月16日に富岡町民が避難し、この劇の舞台ともなっている郡山市のビッグパレットふくしまでの上演を目指したが、やはり蔓延防止期間ということで不可となった。しかし、あきらめずに上演日を延期し、会場も移し、人数制限をしたうえで実施した。当日は、各地に避難してバラバラになっている町民のためにバスを準備したことで約100名の方が参加でき、感動を共にすることができた。帰りのバスでは、同法人の事務局員がバスに乗ると一斉に「よかったよ!」「ありがとう!」と声がかかり、泣き出す人もいた。

資料『伝えつづける』改訂版の作成にあたっては、町がどのように変化したかを記録に残すため、改めて町を撮影したが、取材したかった人々とはコロナ禍のために対面がかなわないことが多かった。また、変わってゆく町を歩

いていると、懐かしい家に出合ったり、道がなくなっていることに気づいたりして、レンズが涙で曇ってなかなか撮影が進まなかった。そんな中でも「あのときの写真は?」、「こんな写真は?」と声をかけると、同じ支援活動をしている人から様々な写真が提供され、「新しい資料ができることを楽しみにしてくれる仲間の存在がうれしい」と、同法人は話す。「朗読劇では音響照明会場費、人員の移動に伴う経費などがかった。また、震災を語り伝える伝承事業の中で記録を残すことは大変重要なことであり、今回の助成により経費をまかなうという面で大変ありがたかった」と、助成の意義についても語ってくれた。

福島県遊技業協同組合連合会より

東日本大震災の記憶を風化させないためにも必要不可欠な事業だと思い、県内の事業者として協力することにしました。



コロナ禍での開催で紆余曲折があったものの上演にこぎつけた。



改訂した資料「伝えつづける」

助成団体:特定非営利活動法人 富岡町3・11を語る会

<http://www.tomioka311.com/>



コロナ禍でもあきらめずに工夫することの大切さを学びました

本会の中核的な活動である「語り人」事業は、なかなか復興事業として認めていただけないことがあり、特に演劇公演は、感動と共に、震災に関する課題の共有が可能になる有効な表現活動であるにもかかわらず、助成事業から外されることが多いのが現状です。POSCのご理解、ご支援に心から感謝申し上げます。

特定非営利活動法人 富岡町3・11を語る会
代表理事 青木 淑子さん